

## 視察報告

### 「小柴貯油施設跡地公園」を視察しました。



▲ 事故現場の前で説明を受ける議員団

今年の8月25日に水道工事で発生した建設発生土を仮置きする作業中に、作業員の方が重機と共にタンクに落下し亡くなる事故が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り致します。この場所は旧日本海軍の燃料貯油場所であり、残された



タンクが25箇所あります。何故事故が起きてしまったのか原因を調査中とのことですが、このような事故が二度と起こらないように、今後さらなる安全対策・監視体制の強化などに努めていかなければなりません。

### 地域交通“とみおかーと”実証実験を視察しました。

金沢区富岡エリアで実施されている「集合型移送サービスの実証実験」(地域交通“とみおかーと”実証実験)を視察しました。実験は12月11日までの無償期間と、2021年1月中旬から約2カ月間の有償期間に分けて実施されます。

乗客として実験への参加を希望する住民や来訪者は、とみおかーとサイトに登録して利用できます。

運行形態には、4つの路線を約30分間隔で運行する「路線定期運行」と、エリア内に約70の乗降ポイントがあり最短15分前まで配車予約できるオンデマンド交通「フリーエリア運行」があります。いずれも京急グループ所属の現役タクシードライバーが運転しています。

集合型移送サービスの実証実験は2018年度から実施されており、3年目となる今回の実験は、地域からの意見に基づいて例えば自由に乗降可能としたり、高齢者のために電話予約にも対応するようにしています。

コロナ禍の実証実験ということで衛生環境に配慮しながらの運用ですが、富岡エリアは横浜市内でも人口減少と高齢化が進んでおり、なおかつ急勾配の坂道や狭い道路が多く、住民はバス停や鉄道駅へのアクセスに苦労しています。実証実験はこうした交通課題を解決するためのものですが、市内各区でも同様の課題を抱えています。この実験が市民の皆様にとって有益な取り組みとなるように願って我が会派としても注目していきます。



▲ ゆったりと乗れるワンボックス



▲ 参加メンバーとカートの前で

## 議員の活動チェックは こちらから!

会派では横浜市の重要課題にいち早く取り組めるようにヒアリング、勉強会、視察を随時行っています。会派所属議員の日々の活動報告はこちらからご覧いただけます。

立憲民主党・無所属フォーラム横浜市議員団 関連サイト・SNS

公式サイト



http://dpj-hama.org/

フェイスブック



カシノ撤回サイト



LINE公式  
アカウント



お気軽に  
登録してね





## 第4回 定例会報告

# 水道料金、中学校給食費の改定 第4次コロナ対策補正予算案が可決

令和2年第4回定例会が11月27日から12月17日までの21日間にわたり開催され、水道料金改定、中学校の給食費の改定などとともに、第4次となるコロナ対策補正予算案について議論が交わされ、全議案可決しました。

新型コロナウイルス対策としては、年末年始へ向けて休日夜間診療体制の整備、感染症コールセンターの24時間化・電話回線の増強、クラスター予防対策として簡易検体採取所を含めたPCR検査体制が拡充されるなど、市民の不安軽減に繋がる事業が可決されました。また、中小企業の「新しい生活様式」対応支援事業、市民文化芸術の活性化のため公演等に係る感染症対策費、コロナ禍で雇用不安や経済不安等を抱える女性を支援する電話相談窓口新設のための経費などが計上されました。

## 12/4 議案関連質疑

### 中山 大輔 議員 (神奈川区)



## コロナ禍、水道料金支払い困難者には 寄り添った対応を

Q コロナ禍の厳しい状況下の中でも、平均改定率を12%とした根拠について伺う。

A 【水道局長】料金算定期間である令和3年9月から令和6年3月において進める予定である西谷浄水場の再整備や、管路の更新・耐震化などに必要な事業費を、徹底した経費削減の取組を行った上で算定した結果、料金収入として必要な金額を1,830億円と算出しました。これに対して現行の料金体系における料金収入の見通しは1,634億円となり、196億円(12%相当)が不足する見込みであることから平均改定率を12%とさせていただきます。

Q 新型コロナウイルスの収束が見通せない中での料金改定については、利用者である市民・事業者の家計、経営状況を注意深く観察しなければならない。利用料金の支払い困難者に対しては、延納や支払い猶予、分割納付など可能な限り寄り添った対応が必要と考えるが、具体的な対応を伺う。

A 【水道局長】コロナ禍において、料金のお支払いが厳しい方々がいらっしゃることは真摯に受け止めています。御事情をお伺いし、分割での納付や納付期限延長といった支払い猶予の相談など、個々の状況に応じて柔軟かつきめ細やかに対応してまいります。

## 喫食率のアップは、 ハマ弁のイメージ刷新で

Q 多くの市民から要望のある中学校給食実現について、我が会派としても強く求めてきた。そこで、令和3年度から、ハマ弁を学校給食法上の給食に位置付け「デリバリー型中学校給食」とすることに伴う保護者負担額の違いについて伺う。

A 【教育長】ハマ弁の保護者負担額には、食材費の他に製造業者の人員費の一部が含まれています。学校給食法上の給食では、保護者負担額は原則食材費相当額となります。製造業者の人員費分を食材費に充当することで、現在の保護者負担額を増やすことなく、国の求める国産比率の向上や地産地消の推進を含む食材の充実を図ることが可能となります。